

A globe is the central focus, showing a cityscape with buildings and greenery. The globe is set against a background of large, vibrant green leaves. A white rectangular box with a thin border is centered over the globe, containing the title and dates.

第121期

中間報告書

平成23年4月1日

▼
平成23年9月30日

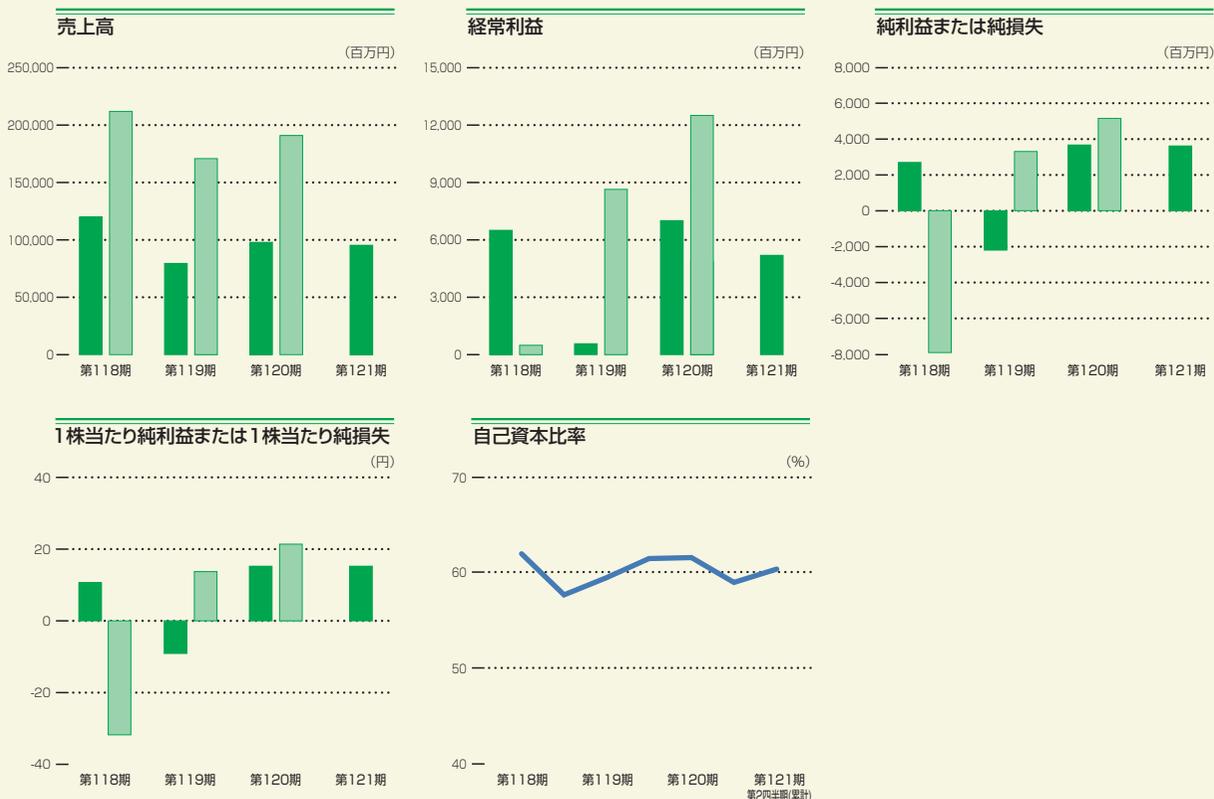


住友ベークライト株式会社

連結業績ハイライト

	第118期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)		第119期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)		第120期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)		第121期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期
売上高 (百万円)	119,933	212,409	78,922	170,843	97,908	190,971	95,326	
経常利益 (百万円)	6,502	490	570	8,643	7,006	12,507	5,193	
純利益または純損失 (△) (百万円)	2,700	△7,907	△2,193	3,306	3,670	5,154	3,614	
1株当たり純利益または 1株当たり純損失 (△) (円)	10.66	△31.78	△9.10	13.72	15.23	21.39	15.00	
自己資本比率 (%)	62.0	57.7	59.5	61.5	61.6	59.0	60.4	

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



株主の皆様へ



平素は格別のご支援とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第121期の第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の営業の概況について、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧州では財政危機を背景に金融不安が高まり、米国では高い失業率が続き停滞感が強まり、これまで牽引役であった中国などの新興国においても金融引き締めから成長のスピードが緩むなど、景気は減速傾向を強めてきました。日本経済は、東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、サプライチェーンの建て直しが進み、緩やかに回復してきました。しかし、海外の景気減速に加え、円が高止まりするなど先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においてはスマートフォンやタブレット端末の情報端末は好調でしたが、薄型テレビやパソコンなどの需要が低迷し、全体としては低調でした。自動車につきましては、国内の生産は震災の影響

で大きく減少しましたが、後半から回復が進みました。一方、欧米や中国では販売促進政策の打ち切りなどにより販売の減速が顕著となり、先行きに陰りが見えてきました。また、国内の住宅着工件数は、震災直後の減少から持ち直しの兆しが出てきましたが、復興による本格的な回復にはいたりませんでした。

当社グループは、このような経営環境の中で、身の丈経営によりスリム化した企業体質を維持しながら、次の方針を掲げて、新たな成長に向けて会社総合力を結集して取り組んできました。

- ① 既存製品の拡販、用途拡大
- ② 成長市場・分野での事業拡大
- ③ 新製品の早期戦力化、ソリューションの創出・提供

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年下半期と比較しますと、高機能プラスチック製品や半導体関連材料の販売が伸長し増加しましたが、前年同期比では、円高により在外子会社の売上高が為替換算で大きく減少したことで、連結売上高は953億26百万円（前年同期比2.6%減）となりました。利益につきましても、固定費の抑制や赤字事業の構造改革に注力してきましたが、円高の進行や原料価格の上昇などの悪化要因が大きく、連結営業利益は42億66百万円（同31.6%減）、連結経常利益は51億93百万円（同25.9%減）となりました。連結四半期純利益は特別損失が前年同期に比べ減少したため、前年同期比微減の36億14百万円（同1.5%減）となりました。

中間配当金につきましては、1株につき7円50銭とさせていただきますので、ご了承くださいようお願い申し

上げます。

今後の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、海外では欧米の財政・金融不安を背景に減速リスクを抱え、予断を許さない状況が続く、国内でも輸出の足踏みと円高の長期化による環境悪化が予想され、以前にも増して不透明な状況が続くものと見込まれます。当社の業績に大きく影響する半導体市場については弱含み、自動車市場については大きな回復は見込めない状況が続くものと想定いたします。

このような状況の中で、当社グループは顧客ニーズを先取りして需要を掘り起こし、全グループ員が一体となり拡販を図るとともに、原料価格の上昇を販売価格に適正に反映することや、身の丈経営の徹底を進めコスト削減を図ることで、業績の維持・向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

林 茂

売上高構成比

半導体関連材料部門

売上高 26,948百万円

前年同期比 -1.8%

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体実装用キャリアテープは、携帯情報端末などの新分野が好調でしたが、薄型テレビやパソコンなどの既存分野で低迷したことや円高の影響により、売上高は減少しました。半導体基板材料「LαZ[®]」は、スマートフォンやタブレット端末での採用が拡大し、売上高は順調に伸長しました。なお、半導体基板材料「LαZ[®]」は、今後の大幅な需要拡大に対応すべく、静岡に加えて宇都宮に第二の生産拠点を設置することを決定しました。また、本年6月末に研究体制を再編し、宇都宮を先端材料研究開発・新分野の開拓に特化させ、既存製品の応用研究を顧客に近い拠点で行うべく、既に設置済のシンガポール、中国蘇州に加え、九州と台湾にも研究所を設置することを決定しました。



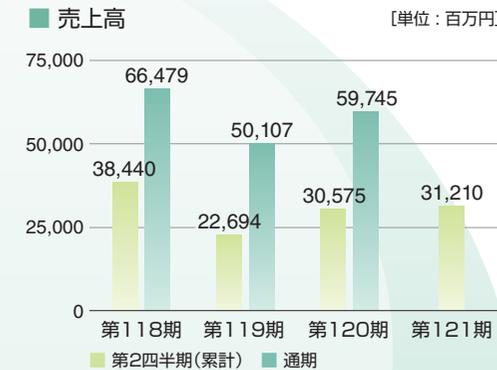
28.3% 32.7%

高機能プラスチック部門

売上高 31,210百万円

前年同期比 +2.1%

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂および精密成形品は、国内では自動車分野は震災による影響を大きく受けつつも後半に回復が進み、産業資材分野の鉄鋼関連・住宅設備関連は好調に推移し、欧州や北米では自動車分野を中心に伸長したことで、売上高は全体として増加しました。なお、工業用フェノール樹脂の生産販売会社として中国江蘇省南通市に設立した「南通住友電木有限公司」に、中国市場の需要拡大への対応を図るべく、フェノール樹脂成形材料工場も追加新設することを決定し、来年1月の稼働に向けて準備を進めております。



クオリティオブライフ関連製品部門

売上高 28,841百万円

前年同期比 -1.3%



医療機器製品は、震災の影響による前期末の駆け込み需要の反動がありましたが、胃瘻用ボタンおよび胃瘻造設キットの伸長と、腹腔用低圧持続ドレナージシステム「クリオドレーンバック[®]」などの新製品の寄与により、売上高は増加しました。ビニル樹脂シートおよび複合シートは、工業用途が在庫調整などにより伸び悩みましたが、医薬品包装用途が好調なことから、売上高は増加しました。ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、メラミン樹脂化粧板・不燃板などのプレート・デコラ事業は、震災の影響が大きく、売上高は減少しました。なお、業界初となる不燃の薄物メラミン化粧板「薄物デコラ『イノベア』」を開発し、この事業の柱とすべく、本年8月にプロジェクトチームを結成し拡販活動を開始しました。防水関連事業は、住宅リフォーム関連は好調で、ビルや工場などの一般建築物関連も堅調だったものの、主力の新築住宅関連が震災などの影響により振るわず、売上高は横ばいで推移しました。なお、防水関連事業は、本年7月より当社内の製造部門を住ベシート防水株式会社に移管し、製造から販売・工事施工までを一貫して同社で行うことで、顧客対応を強化し一層の事業拡大を図っております。

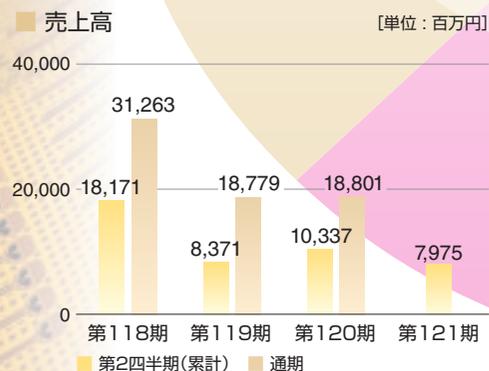
その他につきましては、売上高は351百万円となりました。

回路製品部門

売上高 7,975百万円

前年同期比 -22.8%

エポキシ樹脂銅張積層板およびフェノール樹脂銅張積層板は、薄型テレビなどの民生機器向けが伸びず、売上高は減少しました。また、フレキシブル・プリント回路は、一部の不採算分野からの撤退などにより、売上高は減少しました。なお、フレキシブル・プリント回路は、合理化施策を実施し、当初計画どおり赤字の縮小ができました。



8.4%

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

科目	前期末に係る要約 連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)		当第2四半期末 連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在)	
資産の部				
流動資産	106,492	102,165		
現金及び預金	38,774	28,642		
受取手形及び売掛金	40,560	43,027		
商品及び製品	8,709	9,424		
半製品	2,573	2,931		
仕掛品	582	825		
原材料及び貯蔵品	9,128	10,933		
その他	6,342	6,486		
貸倒引当金	△179	△104		
固定資産	98,597	100,472		
有形固定資産	73,191	74,462		
建物及び構築物（純額）	30,245	29,898		
機械装置及び運搬具（純額）	24,172	25,151		
その他（純額）	18,773	19,413		
無形固定資産	6,387	6,239		
のれん	5,255	5,153		
その他	1,131	1,086		
投資その他の資産	19,019	19,769		
資産合計	205,090	202,637		

(単位：百万円)

科目	前期末に係る要約 連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)		当第2四半期末 連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在)	
負債の部				
流動負債	60,574	58,262		
支払手形及び買掛金	28,681	30,536		
短期借入金	5,157	5,224		
コマーシャル・ペーパー	11,000	6,000		
未払法人税等	1,199	1,377		
賞与引当金	2,670	2,659		
災害損失引当金	1,034	841		
その他	10,832	11,623		
固定負債	22,490	20,854		
長期借入金	11,501	11,050		
退職給付引当金	6,702	5,551		
事業再建費用引当金	363	400		
その他の引当金	370	359		
負ののれん	790	380		
その他	2,761	3,113		
負債合計	83,064	79,117		
純資産の部				
株主資本	139,716	141,520		
資本金	37,143	37,143		
資本剰余金	35,358	35,358		
利益剰余金	79,140	80,947		
自己株式	△11,925	△11,928		
その他の包括利益累計額	△18,782	△19,165		
その他有価証券評価差額金	1,287	488		
為替換算調整勘定	△18,570	△18,381		
在外子会社の退職給付債務調整額	△1,499	△1,272		
少数株主持分	1,092	1,165		
純資産合計	122,025	123,520		
負債純資産合計	205,090	202,637		

● 連結損益計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)		当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	
売上高	97,908	95,326		
売上原価	69,827	68,920		
売上総利益	28,080	26,406		
販売費及び一般管理費	21,847	22,140		
営業利益	6,233	4,266		
営業外収益	1,186	1,274		
受取利息	48	73		
受取配当金	302	324		
負ののれん償却額	410	410		
持分法による投資利益	89	37		
為替差益	165	252		
雑収入	169	176		
営業外費用	414	347		
支払利息	171	159		
雑損失	242	187		
経常利益	7,006	5,193		
特別利益	225	419		
固定資産売却益	221	16		
退職給付引当金戻入額	—	402		
その他	4	—		
特別損失	1,732	988		
固定資産除売却損	355	168		
投資有価証券評価損	206	9		
事業再建関連費用	331	71		
減損損失	419	122		
解決金等	236	579		
環境対策引当金繰入額	73	—		
資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	79	—		
その他	30	35		
税金等調整前四半期純利益	5,498	4,624		
法人税等	1,735	941		
法人税、住民税及び事業税	1,074	927		
法人税等調整額	661	14		
少数株主損益調整前四半期純利益	3,762	3,682		
少数株主利益	92	68		
四半期純利益	3,670	3,614		

(単位：百万円)

● 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)		当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,462	3,763		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,867	△7,102		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,745	△7,234		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,007	103		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,157	△10,469		
現金及び現金同等物の期首残高	32,405	37,834		
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,248	27,365		

(単位：百万円)

会社の概要 (平成23年9月30日現在)

- **設立** 昭和7年1月25日
- **資本金** 37,143,093,785円
- **主要な事業内容** 下記製品等の製造・販売

部門	主要品目等	主要生産拠点
半導体関連材料部門	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料	九州住友ベークライト(直方市) SUMITOMO BAKELITE SINGAPORE 蘇州住友電木、台湾住友培科
	感光性ウェハーコート用液状樹脂 半導体用液状樹脂 半導体実装用キャリアテープ	九州住友ベークライト(直方市) 宇都宮工場 尼崎工場、SUMICARRIER SINGAPORE SUMITOMO BAKELITE (THAILAND)
	半導体チップ接着用テープ 半導体基板材料	宇都宮工場 静岡工場
回路製品部門	エポキシ樹脂銅張積層板 フェノール樹脂銅張積層板 フレキシブル・プリント回路	静岡工場、住友倍克澳門 SNC INDUSTRIAL LAMINATES (マレーシア) SUMITOMO BAKELITE VIETNAM
高機能プラスチック部門	フェノール樹脂成形材料	静岡工場、SUMIDUREZ SINGAPORE 蘇州住友電木、DUREZ CANADA VYNOLIT (ベルギー) SUMITOMO BAKELITE NORTH AMERICA
	工業用フェノール樹脂	静岡工場、秋田住友ベーク INDOPHERIN JAYA (インドネシア) DUREZ CORPORATION (米国) SUMITOMO BAKELITE EUROPE (ベルギー) SUMITOMO BAKELITE EUROPE (BARCELONA)
クオリティオブライフ関連製品部門	精密成形品	南通住友電木 静岡工場、上海住友電木
	医療機器製品 ビニル樹脂シートおよび複合シート メラミン樹脂化粧板・不燃板 ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板 防水工事の設計ならびに施工請負	秋田住友ベーク 尼崎工場 静岡工場 鹿沼工場、SBP INDONESIA 住ベシート防水(東京都品川区)

- **従業員数** 連結 7,268名
単体 2,842名(うち出向者617名)

- **事業所** **本社** 東京都品川区
研究所 先進技術開発研究所(神戸市)、生産技術研究所、高機能プラスチック製品総合研究センター、自動車製品開発研究所、回路・電子産資開発研究所(藤枝市)、フィルム・シート研究所(尼崎市)、プレート・デコラ研究所(鹿沼市・藤枝市)、情報・通信材料総合研究センター(宇都宮市)、電子デバイス材料研究所(宇都宮市・直方市)
工場 尼崎工場(尼崎市)、鹿沼工場(鹿沼市)、静岡工場(藤枝市)、宇都宮工場(宇都宮市)

- (注) 1. 平成23年6月29日付で基礎研究所と神戸基礎研究所を統合し、先進技術開発研究所を設置しました。
2. 平成23年6月29日付で電子デバイス材料第一研究所と電子デバイス材料第二研究所を情報・通信材料総合研究センターから分離して電子デバイス材料研究所として再編統合し、九州住友ベークライト株式会社敷地内への移転を進めております。
3. 平成23年7月1日付で防水関連事業の製造部門を子会社の住ベシート防水株式会社に移管しました。これにより奈良工場は同社奈良工場となりました。

株式の状況

株式の種類	普通株式
単元株式数	1,000株
発行可能株式総数	800,000,000株
発行済株式総数	262,952,394株
株主数	17,942名
うち単元株主数	13,243名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	52,549	21.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,929	8.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,718	5.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・住友信託退給口	4,366	1.81
株式会社三井住友銀行	4,360	1.81
JUNIPER	4,181	1.74
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	3,056	1.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,014	1.25
三井住友海上火災保険株式会社	2,637	1.09
住友生命保険相互会社	2,617	1.09

- (注) 1. 当社は自己株式22,029千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

取締役および監査役

※会長	小川 富太郎
※社長	林 茂
※取締役	八幡 保
取締役	河内 哲
取締役	寺沢 常夫
取締役	伊藤 真一郎
取締役	祐安 隆三
取締役	武藤 茂樹
取締役	平野 和久
監査役(常勤)	内村 健
監査役(常勤)	入学 敏博
監査役	阿部 博之
監査役	布施 謙吉

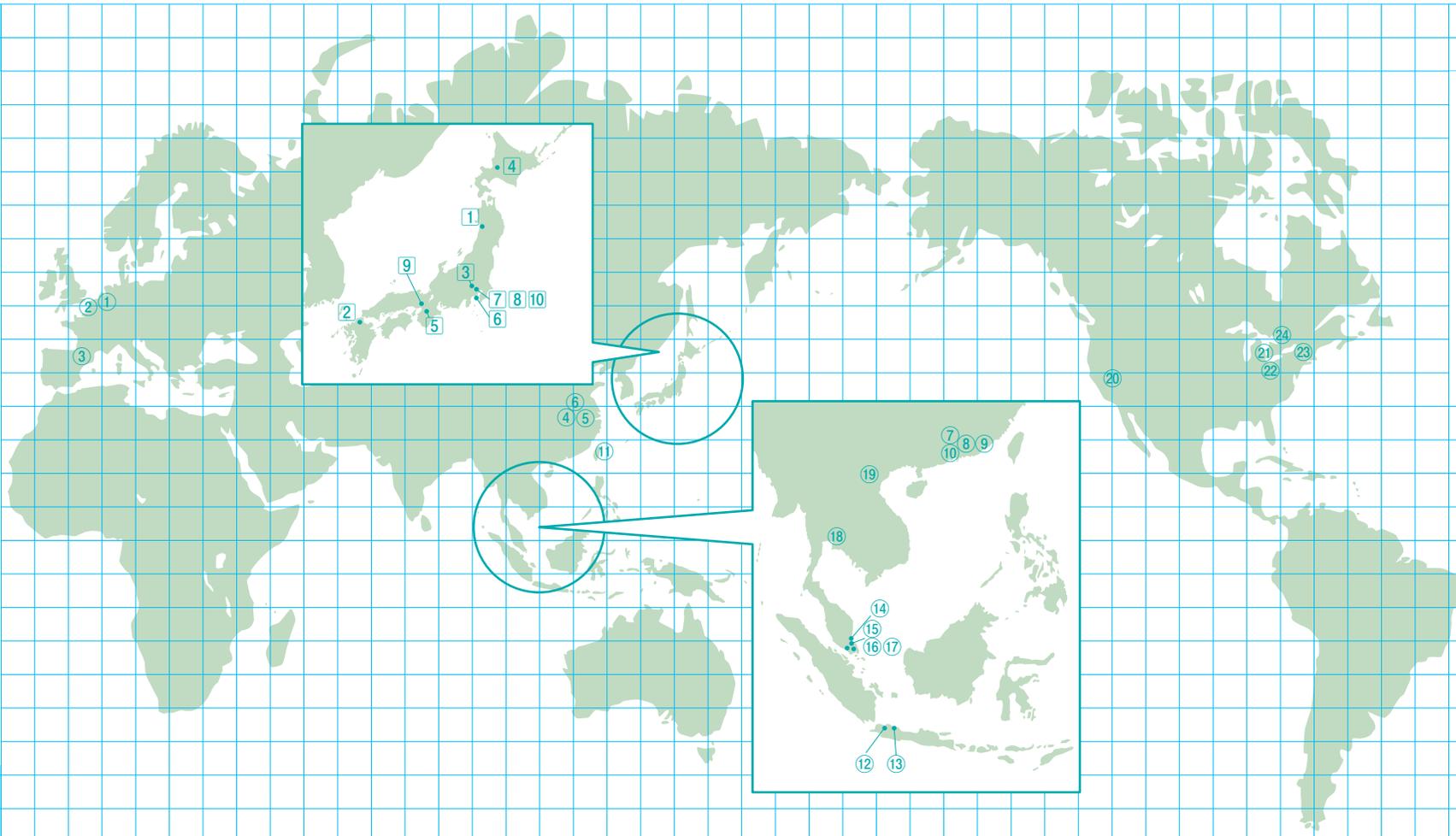
(注) ※印は代表取締役であります。

執行役員

社長執行役員	林 茂
副社長執行役員	八幡 保
専務執行役員	寺沢 常夫
専務執行役員	伊藤 真一郎
常務執行役員	祐安 隆三
常務執行役員	武藤 茂樹
常務執行役員	平野 和久
常務執行役員	関根 貢一郎
常務執行役員	高田 瞭
執行役員	山脇 昇
執行役員	藤原 一彦
執行役員	稲垣 昌幸
執行役員	吉原 達生
執行役員	岡部 幸博
執行役員	朝隈 純俊
執行役員	石渡 晋太郎
執行役員	本多 範義
執行役員	ヘニー ファン ダイク

● 海外

- ① N.V. SUMITOMO BAKELITE EUROPE S.A.
- ② VYNCOLIT N.V.
- ③ SUMITOMO BAKELITE EUROPE (BARCELONA), S.L.U.
- ④ 蘇州住友電木有限公司
- ⑤ 上海住友電木有限公司
- ⑥ 南通住友電木有限公司
- ⑦ 倍克精工香港有限公司
- ⑧ 東莞住友電木有限公司
- ⑨ 住友倍克(香港)有限公司
- ⑩ 住友倍克澳門有限公司
- ⑪ 台湾住友培科股份有限公司
- ⑫ P.T. INDOPHERIN JAYA
- ⑬ P.T. SBP INDONESIA
- ⑭ SNC INDUSTRIAL LAMINATES SDN. BHD.
- ⑮ SUMITOMO BAKELITE SINGAPORE PTE. LTD.
- ⑯ SUMICARRIER SINGAPORE PTE. LTD.
- ⑰ SUMIDUREZ SINGAPORE PTE. LTD.
- ⑱ SUMITOMO BAKELITE (THAILAND) CO., LTD.
- ⑲ SUMITOMO BAKELITE VIETNAM CO., LTD.
- ⑳ SUMITOMO PLASTICS AMERICA, INC.
- ㉑ DUREZ CORPORATION
- ㉒ PROMERUS LLC
- ㉓ SUMITOMO BAKELITE NORTH AMERICA, INC.
- ㉔ DUREZ CANADA CO., LTD.



● 国内

- ① 秋田住友ベーク株式会社
- ② 九州住友ベークライト株式会社
- ③ 住ベテクノプラスチック株式会社
- ④ 北海海洋プラスチック株式会社
- ⑤ 山六化成工業株式会社
- ⑥ 住ベリサーチ株式会社
- ⑦ 株式会社サンベーク
- ⑧ 住ベシート防水株式会社
- ⑨ 株式会社ソフテック
- ⑩ 株式会社サンクストレーディング

(注) 本中間報告書における金額、比率および株式数の表示方法は、次のとおりであります。ただし、「-」と表示している場合は「なし」を表してあります。

- 1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 2. 売上高および利益の増減比率は四捨五入により小数点第1位まで、持株比率は四捨五入により小数点第2位まで表示しております。
- 3. 千株単位の記載株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により行います。 http://www.sumibe.co.jp ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-176-417
ホームページ	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

お知らせ

1. 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

2. 除斥期間満了後のお取り扱いについて

配当金は、支払開始の日から満3年（除斥期間）を経過しますと、当社定款の規定により、お支払いできなくなりますのでお早めにお受け取りください。

3. 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

住友ベークライト株式会社

東京都品川区東品川二丁目5番8号

ホームページ <http://www.sumibe.co.jp>



プラスチックのバイオニア



この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。